

平成27年度決算に係る

定期監査調書

平成28年3月

農林水産部 栽培漁業センター

目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1 頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1 頁
3	組織及び業務調べ	1 頁
4	職員の定員、現員調べ	1 頁
5	役付職員の調べ	2 頁
6	主な事業に関する調べ	3 頁
7	収入証紙取扱額調べ	6 頁
8	収入事務処理状況調べ	6 頁
	(1) 分担金及び負担金	
	(2) 使用料	
	(3) 手数料	
	(4) 財産収入	
	(5) 諸収入	
	(6) 現金の取扱状況	
9	収入未済額調べ	7 頁
10	未収金回収促進のための取り組み状況調べ	7 頁
11	不納欠損額調べ	8 頁
12	負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ	8 頁
	(1) 負担金	
	(2) 補助金	
	(3) 交付金	
	(4) 委託料	
13	工事請負費調べ	11 頁
14	財産に関する調べ	11 頁
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の受払状況	
15	財産の貸付及び使用許可調べ	16 頁
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品	
16	借受不動産明細調べ	22 頁
17	職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ	22 頁
	(1) 職員住宅	
	(2) 職員駐車場	
18	自動車（二輪を除く）の管理状況調べ	23 頁
19	寄附物件の受納状況調べ	23 頁
20	備品の処分状況調べ	23 頁
21	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	26 頁
22	事業別予算執行状況調べ	27 頁
23	試験研究調査事業別実施状況調べ	28 頁
24	船舶運航調べ	32 頁
25	用船の状況調べ	33 頁
○	意見、要望等	26 頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項
該当なし

(2) 監査意見
該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況
該当なし

3 組織及び業務調べ

課 名	係（担当）名	課の主な所掌事務
栽培漁業センター	管理担当	人事管理、予算・決算事務
	養殖・漁場環境室	水産動植物の増殖、養殖及び漁場環境についての試験研究及び調査に関すること。 その他水産技術の普及指導並びに沿岸漁業及び内水面漁業の促進に関すること
	増殖推進室	〃
	試験船おしどり	〃

4 職員の定員、現員調べ

（平成28年3月1日現在）

種別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		計		備 考
	当該 年度	27.4.1 現 在	当該 年度	27.4.1 現 在	当該 年度	27.4.1 現 在	当 該 年 度	27.4.1 現 在	
定 員	1	1	10	10	1	1	12	12	
現 員	() 1	() 1	(1) 10	() 10	() 1	() 1	(1) 12	() 12	
過不足△	0	0	0	0	0	0	0	0	
臨時職員	0	0	0	0	0	0	0	0	
非常勤職員	1	1	12	11	2	2	15	14	事務1、警備2 研究員補助員12

() は、育児休業、休職中の職員数。

5 役付職員の調べ

(平成28年3月1日現在)

職 名	氏 名	在 職 期 間		備 考
		年	月	
所 長	山田 英明	0	11	
管理担当課長補佐	田村 照幸	2	11	出納員
養殖・漁場環境室長	宮永 貴幸	0	11	
増殖推進室長	福井 利憲	0	11	勤務期間：5年11月

6 主な事業に関する調べ

事業名	概要	要
<p>美保湾ヒラメ試験放流 サポート調査</p> <p>決算見込額 1,737千円</p> <p>(財源内訳) 一般財源 1,733千円 その他 4千円</p> <p>○将来ビジョン</p> <p>○政策項目</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 美保湾地域栽培漁業推進協議会が主体となり行うヒラメ放流に対して、技術的サポートと放流効果の検証を行う。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネオヘテロボツリウム症の蔓延により、平成15年から事業放流を休止した（放流サイズは3～8cm。ピーク時は100万尾以上を放流）。 ・平成17年、18年に美保湾で実施した稚魚調査から、美保湾が生育環境として良好なことが判明した。 ・平成19年から大型種苗（10cm）の試験放流を美保湾で実施した（6万尾/年）。 ・平成22年は放流適地の検証のため標識放流を実施し、平成23年は放流許容量の把握のため、集中放流を実施し、平成24年は前年との比較で分散した放流を実施し、平成25年は経費節減の検討のため小型化し、平成26年は早期に少量放流を実施した。 <p>イ 平成27年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度から漁業者主体の放流事業への体制（※）へ移行し、平成27年度は、放流経費節減のため小型化し、かつ前年の倍量の放流を実施した。 <p>※ 美保湾周辺の鳥取県漁協境港支所、淀江支所、米子市漁協、JFしまね美保関支所、境港市、米子市、松江市、県が参画し美保湾地域栽培漁業推進協議会を組織。</p> <p>ウ 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成26年9月までに平成20年、21年の放流群の回収率は、それぞれ3.5%、3.6%だったが、平成19年、22年、24年は、それぞれ16.1%、15.6%、18.0%と高い回収率であった。 ・平成26年の放流群は、これまでのところ10.4%と順調に回収されている。 ・平成19年から24年の試験放流の平均回収率は11.4%と高い。（参考：日本海側の平均的な回収率2-3%）。 <p>※ H26年度より美保湾地域栽培漁業推進協議会の事業として放流が実施されている。</p> <p>エ 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高い回収状況であるが、ヒラメの魚価の低下により、費用対効果（放流経費に対する便益額）が未滿となっており、引き続き、放流経費削減のための放流サイズの小型化を検証して行く必要がある。 ・また、放流方法だけでなく活魚・活締め出荷等による付加価値向上策についても併せて検討し、費用対効果を高めることが必要である。 	

事業名	概	要
キジハタ栽培漁業実用 化試験 決算額 9,128千円 (財原内訳) 一般財源 9,124千円 その他 4千円	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 平成28年度からキジハタ事業放流(種苗の有償化)の開始を目指して、種苗の低コスト化、放流後の高生残化、回収率の検証などを行うとともに、漁業者に放流手法を普及すること。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人工採卵試験 平成24年度までの種苗生産では天然のキジハタから自然に産卵した卵を用いていたが、産卵が不調な年もあったため、人工的に産卵を促す試験を行った。 ・放流試験 費用対効果を考慮し、小型種苗(全長5cm)を放流し、放流後の潜水調査等により、大型種苗(7cm)に劣らない生残を確認した。 これまで、放流初期の食害軽減策として、「低密度分散型放流」が有効であることが分かった。本年度は、本放流手法により、田後～淀江の11地区で約6万匹を放流した。 ・放流効果の検証 賀露地方卸売市場と赤碓町漁業協同組合卸売市場において、低密度分散型放流が開始された平成23年放流群(3歳魚)の水揚げ状況を調査した。 ・栽培漁業の推進 平成28年キジハタ事業放流の開始に向けて、平成27年5月に鳥取県キジハタ栽培漁業推進協議会(事務局:鳥取県漁業協同組合)が立ち上げられ、放流予定尾数等について漁協・漁業者との調整を図った。 <p>イ 平成27年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キジハタ種苗が各地区に何尾放流出来るか把握する調査(マッピング調査)を行い、その妥当性を検証するための試験放流を行った。 <p>ウ 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで試験放流を行ってきた酒津と赤碓の3歳魚の放流群の回収率を調査した結果、地区内で差はあるものの、回収率が良い場所では3.8~4.2%であり、4歳魚以降も順調に回収されれば、種苗が有償化しても利益があると見込まれた。 ・マッピング調査を行った結果、県内にはキジハタ種苗約20万尾放流できそうな場所があるといった手応えを得ることが出来た。 <p>エ 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・費用対効果を上げるため、種苗の更なる高生残化などを図る。また、3歳魚以上の高齢魚の回収率を調査する必要がある。 ・栽培漁業推進するため、漁業者への放流手法の普及や資源管理の支援も必要である。 	

事業名	概	要
養殖事業展開可能性調査 決算額込額 12,365千円 (財源内訳) 一般財源 12,359千円 その他 6千円 ○将来ビジョン ○政策項目	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 鳥取県で現在進めている陸上養殖について飼育方法を検討し、効率的で生産性のある養殖手法を確立する。平成24年度から「井戸海水を用いたマサバ陸上養殖を、加えて平成25年度からは「閉鎖循環水槽によるキジハタの陸上養殖」、平成27年度からは「カワハギ類の陸上養殖」、「浅井戸によるアワビ陸上養殖」について飼育試験を行っている。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・養殖用種苗の生産試験を実施した。(マサバ) ・産卵期のコントロールを行った。(マサバ) ・陸上養殖魚の市場性調査を行った。(マサバ) ・海面養殖の可能性について共同研究と通常水温による飼育を行った(マサバ) ・閉鎖循環養殖システムを構築し、その管理方法を検討している。(キジハタ) ・閉鎖循環養殖によるキジハタ養殖の飼育密度について検討を開始した。(キジハタ) ・マーケティングに関する共同研究を実施中(キジハタ) ・民間企業が新しく立ち上げた「ハイブリッド型循環養殖システム」の管理方法について、データを収集すると共に指導、助言を行っている。(キジハタ) ・県内陸上養殖業者と養殖試験を実施している。(カワハギ、ウマツラハギ、アワビ) <p>イ 平成27年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通常海水温での飼育を行い、地下海水との成長、生残を比較した。(マサバ) ・企業と協力して大阪で陸上養殖魚の市場性を調査した。(マサバ) ・水質改善のため、飼育水の換水・酸素注入を実施した。(キジハタ) <p>ウ 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・陸上マサバの市場調査について知見を得た(マサバ)。 ・通常水温における飼育について、成長と生残の知見を得た(マサバ)。 ・閉鎖循環養殖のシステムを組み上げ、低水温期でもキジハタ養殖に適した水温(25℃)での飼育が可能となった(キジハタ)。 ・換水により硝酸塩濃度を抑えて飼育することにより、高成長が得られた(キジハタ)。 ・天然稚魚を確保し、県内業者と陸上養殖の共同試験を開始した(カワハギ類)。 <p>エ 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・養殖魚の市場性の検討が必要。(マサバ、キジハタ、カワハギ類) ・採卵・種苗生産時期のコントロールの技術が必要。(マサバ) ・硝酸塩の蓄積への対応が必要。(キジハタ) ・閉鎖循環養殖での飼育密度と成長の把握が必要。(キジハタ) ・養殖に係る飼育コストの試算が必要。(マサバ、キジハタ、カワハギ類) ・人工種苗生産技術開発が必要。(カワハギ類) 	

7 収入証紙取扱額調べ

(平成27年12月31日現在)

目	収入科		件数	単価 (円)	証紙はりつけ額 (円)	備考
	節	目				
農林水産業手数料	水産業手数料	栽培漁業センター	2	13,700	27,400	コイヘルペスウイルス病検査
		手数料	2	20,300	40,600	コイ春ウイルス血症検査(ウイルス分離検査)
			4	420	1,680	上記証明書
			1	15,700	15,700	ヒラメクドアセンテンブタンタータ検査
			1	420	420	上記証明書
		計(節)	10		85,800	
		目計	10		85,800	
		合計	10		85,800	

8 収入事務処理状況調べ

(1) 分担金及び負担金

該当なし

(2) 使用料

(平成27年12月31日現在)

(単位:円)

目	収入科		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令等	備考
	節	目							
行政財産使用料	行政財産使用料	駐車場使用料	293	293,000	293,000	0	0	鳥取県公有財産事務取扱規則	
		冷房使用料	1	20,459	20,459	0	0		
		計(節)	294	313,459	313,459	0	0		
		目計	294	313,459	313,459	0	0		
		合計	294	313,459	313,459	0	0		

(3) 手数料

該当なし

(4) 財産収入

(平成27年12月31日現在)
(単位:円)

目	収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
	節	細節							
漁獲物売払 収入		漁獲物売払収入	2	49,680	49,680	0	0	農林水産関係教育試験研究機関 等における生産品事務取扱要領	
		計(節)	2	49,680	49,680	0	0		
	目計		2	49,680	49,680	0	0		
	合計		2	49,680	49,680	0	0		

(5) 諸収入

(平成27年12月31日現在)
(単位:円)

目	収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
	節	細節							
雑収入		軽自動車使用料	2	90,510	90,510	0	0		
		工事業者電気代等	2	4,093	4,093	0	0		
		種苗代等	5	2,359,672	2,359,672	0	0		
	目計		9	2,454,275	2,454,275	0	0		
	合計		9	2,455,275	2,454,275	0	0		

(6) 現金の取扱状況
該当なし

9 収入未済額調べ
該当なし

10 未収金回収促進のための取り組み状況調べ
該当なし

1 1 不納欠損額調べ
該当なし

1 2 負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ

(1) 負担金

(平成27年12月31日現在)
(単位：円)

予算科目 (目)	予算額令達額	負担金の名称	支出先	負担率	支出年月日	支出金額	支出の根拠法令等 (規約、要領等を含む)	備考
栽培漁業センター費	50,000					50,000		
目計						50,000		
合計						50,000		

(2) 補助金
該当なし

(3) 交付金
該当なし

(4)委託料

(平成27年12月31日)(単位:円)

予算科目 (目)	国補 単 の別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当初契約			入札等 年月日 (契約保証金納 付等年月日)	完了 年月日	支出の状況			備考
				予定価格	(契約年月日) 契約額	契約期間			支出 年月日	金額		
											変更契約(最終)	
栽培漁業センター費	単県	貝毒プラントン同定業務委託	㈩東京久栄広島営業所	333,000	(27.4.30) 276,436	27.4.30 ~ 27.8.31	27.4.10 (免除)	27.8.17	精算	27.10.26	276,436	
栽培漁業センター費	単県	試験放流用キジハタ種苗生産業務委託	(公財)鳥取県栽培漁業協会	5,309,000	(27.4.13) 5,309,000	27.4.13 ~ 28.3.31	27.4.2 (免除)	随	概算	27.6.1	2,654,000	
栽培漁業センター費	単県	浅井戸における養殖試験業務委託	湯梨浜振興合同会社	2,327,520	(27.7.1) 2,327,520	27.7.1 ~ 28.3.31	27.6.30 (免除)	随	概算	27.7.27	2,327,520	
栽培漁業センター費	単県	栽培漁業センター施設維持管理業務委託	(公財)鳥取県栽培漁業協会	6,322,000	(27.4.1) 6,322,000	27.4.1 ~ 28.3.31	27.3.19 (免除)	随	概算	27.5.11 他	4,381,000	
栽培漁業センター費	単県	栽培技術普及指導業務委託	(公財)鳥取県栽培漁業協会	288,000	(27.4.1) 288,000	27.4.1 ~ 28.3.31	27.3.19 (免除)	随	概算	27.5.11 他	288,000	
栽培漁業センター費	単県	栽培漁業センター3号急速濾過器調査業務委託	(株)オグラ	2,498,000	(27.11.5) 2,484,000	27.11.5 ~ 27.12.28	27.11.4 (免除)	27.12.28	精算			
栽培漁業センター費	単県	3号井戸水質調査業務委託	サンイン技術コンサルtant(株)	918,000	(27.12.18) ()	27.12.18 ~ 28.3.31	27.12.11 (免除)	指	精算			
栽培漁業センター費	単県	マサバ種苗生産試験業務委託	(公財)鳥取県栽培漁業協会	3,100,000	(27.4.1) 3,100,000	27.4.1 ~ 28.3.31	27.3.26 (免除)	随	概算	27.5.11 他	3,100,000	
栽培漁業センター費	単県	キジハタ養殖用種苗生産業務委託	(公財)鳥取県栽培漁業協会	257,000	(27.4.17) 257,000	27.4.17 ~ 28.3.31	27.4.2 (免除)	随	概算	27.7.13	257,000	

予算科目 (目)	国補 単 の別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当初契約			入札等 年月日 (契約保証金納 付等年月日)	完了 年月日 履行検査 年月日	支出の状況			備考
				予定価格	(契約年月日) 契約額				支出 区分	支出 年月日	金額	
					変更契約(最終)							
栽培漁業センター費	単県	アユ資源緊急海洋生態 調査に係る魚類採捕等 業務委託	酒井鉄男氏		(27.10.21) 930,000 (27.11.9)	27.10.21 ~ 28.3.31	27.10.20 (免除) 随		概算	27.11.24	840,000	
栽培漁業センター費	単県	湖山池漁場環境回復 試験に係る魚類採捕等 業務委託	湖山池漁業協同組 合		(27.4.1) 1,210,000 ()	27.4.1 ~ 28.3.31	26.3.25 (免除) 随		精算			
栽培漁業センター費	単県	橋津川水門操作に伴う 東郷池流動モデル作成 業務	国立大学法人鳥取 大学		(27.7.16) 3,859,574 ()	27.7.16 ~ 28.3.31	27.6.8 (免除) 随		概算	27.8.6	3,859,574	
栽培漁業センター費	単県	東郷池ヤマトジミ資 源回復試験に係る海水 流入流況調査行委託	ワンスアイ・ナノ テック㈱		(27.6.30) 1,954,800 ()	27.7.15 ~ 27.9.30	26.6.26 (免除) 随	27.9.30	精算	27.10.29	1,954,800	
栽培漁業センター費	単県	養殖普及指導業務	(公財)鳥取県栽培 漁業協会		(27.4.1) 2,248,000 ()	27.4.1 ~ 28.3.31	27.3.26 (免除) 随		概算	27.7.13	2,248,000	
予 定 価 格 が 20 万 円 未 満 の もの											1,127,956	
目 計											22,758,946	
合 計											22,758,946	

13 工事請負費調べ

該当無し

14 財産に関する調べ

(1) 公有財産

ア 土地

(平成27年12月31日現在)

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						本年度末		備考	
			面積(m ²)	価格(円)	増減別	異動日	面積(m ²)	価格(円)	増減理由	登年 年月日	面積(m ²)	価格(円)		
行政財産	栽培漁業センター	湯梨浜町石脇1166	25,445.07	42,461,795	増加							25,445.07	42,461,795	
計			25,445.07	42,461,795								25,445.07	42,461,795	
普通財産	(該当なし)		0	0	増加							0	0	
計														
合計			25,445.07	42,461,795								25,445.07	42,461,795	

イ 建物

(平成12年12月31日現在)

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況							本年度末		備考	
			面積(㎡)	価格(円)	増減別	異動日	面積(㎡)	価格(円)	増減理由	登記年月日	面積(㎡)	価格(円)			
													増加		減少
行政財産	プレハブ倉庫	湯梨浜町石脇1166	30.69	2,992,500	増加							30.69	2,992,500		
	ワムシ飼育培養棟		417.60	28,580,819	増加								417.60	28,580,819	
	アワビ棟		2,110.17	170,473,709	増加								2,110.17	170,473,709	
	管理棟		691.92	76,063,378	増加								691.92	76,063,378	
	津波対策避難階段		12.74	8,157,000	増加								12.74	8,157,000	
	機械棟		386.70	39,796,653	増加								386.70	39,796,653	
	車庫		25.00	1,623,511	増加								25.00	1,623,511	
	ポンプ庫		8.75	831,957	増加								8.75	831,957	
	ヒラメ棟		1,382.87	134,170,880	増加								1,382.87	134,170,880	
	クルマエビ飼育棟		360.40	24,779,724	増加								360.40	24,779,724	
	アワビ棟調温施設		7.93	747,295	増加								7.93	747,295	
	濾過機		97.90	7,925,584	増加								97.90	7,925,584	

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						本年度末		備考		
			面積(m ²)	価格(円)	増減別	異動日	面積(m ²)	価格(円)	増減理由	登記年月日	面積(m ²)	価格(円)			
行政財産	養殖技術指導研修施設	湯梨浜町石脇1166	135.00	17,033,390	増加						135.00	17,033,390			
					減少										
	漁具倉庫		99.89	7,577,099	増加							99.89	7,577,099		
						減少									
	サザ工棟		695.50	178,346,560	増加							695.50	178,346,560		
						減少									
	試料前処理室		30.00	4,223,000	増加							30.00	4,223,000		
						減少									
	沈砂棟		18.56		増加							18.56			
						減少									
	ポンプ室		28.59	35,515,430	増加							28.59	35,515,430		
						減少									
	水管更正ピット		7.76		増加							7.76			
						減少									
井戸海水ポンプ室1	7.78		増加							7.78					
				減少											
井戸海水ポンプ室2	7.78	15,400,785	増加							7.78	15,400,785				
				減少											
井戸海水ポンプ室3	7.78		増加							7.78					
				減少											
井戸海水ポンプ室	11.65	47,416,950	増加							11.65	47,416,950				
				減少											

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況							本年度末		備考
			面積(m ²)	価格(円)	増減別	異動日	面積(m ²)	価格(円)	増減理由	登記年月日	面積(m ²)	価格(円)		
行政財産	ヒラメ、クルマエビ加温施設機械棟	湯梨浜町石脇1166	125.00	22,557,000	増加							125.00	22,557,000	
					減少									
	91.00		20,171,550	増加								91.00	20,171,550	
				減少										
計			6,848.24	873,250,874			0.00	0			6,848.24	873,250,874		
					増加									
普通財産	(該当なし)				減少									
計			0	0			0	0			0	0		
合計			6,848.24	873,250,874			0.00	0			6,848.24	873,250,874		

ウ 山林
該当なし

エ 動産（船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機）
該当なし

オ 物権
該当なし

カ 無体財産権（特許権、著作権、商標権、実用新案権等）
該当なし

キ 有価証券
該当なし

(2) 金券類の受払状況

ア 金券の受払状況

(平成27年12月31日現在)

種 別	前年度末	本 年 度 中		12月末	備 考
		購 入 額	使 用 額		
郵便切手及び郵便はがき	円 30,218	円 27,140	円 39,326	円 18,032	
合 計	30,218	27,140	39,326	18,032	

イ タクシーチケットの受払状況
該当なし

15 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物

ア 土地
該当無し

イ 建物

(平成27年12月31日現在)

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料円		貸付(使用許可)先		備考
							単価	本年度の貸付(使用)料	住氏	所名	
行政財産	種苗生産業務	湯梨浜町石脇1167	5,739.42 m ²	H27.2.23	H6.4.1	H27.4.1 ~ H28.3.31		無償	湯梨浜町石脇1166		
			2,923.22 m ²	"	"	"		無償	(公財)鳥取県栽培漁業協会		工作物
計											
普通財産	(該当無し)										
計											
合計											

※工作物(2,923.22m²)は建物(5,739.42m²)に含まれる面積である。

(2) 物品

(平成27年12月31日現在)

品名	数量	規格・銘柄	貸付期間	貸付料(円)		貸付先		使用場所	貸付目的	備考
				単価	本年度の貸付料	住氏名	所名			
レイン-メタルハラライドランプ	2	LCU-150	H27.4.1 ~H30.3.31	月額・年額	免除	東伯郡湯梨浜町石脇1166 公益財団法人鳥取県栽培漁業協会	栽培漁業センター	種苗生産業務		
ユニット実験台	1	三英DW式	"	月額・年額	"	"	"	"		
ドラフトチャンバー	1	三英PW式	"	月額・年額	"	"	"	"		
壁側実験台	6	三英DW式	"	月額・年額	"	"	"	"		
ユニット流し台	10	三英DW式	"	月額・年額	"	"	"	"		
電気泳動装置	1	サブマリノ型	"	月額・年額	"	"	"	"		
電気泳動装置	1	AE8750型	"	月額・年額	"	"	"	"		
振とう器	1	アト-AE3605型	"	月額・年額	"	"	"	"		
電気泳動装置	1	AE-6133	"	月額・年額	"	"	"	"		
中央実験台	4	三英DW式	"	月額・年額	"	"	"	"		
作業台	1	三英DW式	"	月額・年額	"	"	"	"		

品名	数量	規格・銘柄	貸付期間	貸付料(円)		貸付先		使用場所	貸付目的	備考
				単価	本年度の貸付料	住氏名	住所名			
システム実顕顕微鏡	1	ニコンSMZ-10A-6	H27.4.1 ~H30.3.31	月額・年額	免除	東伯郡湯梨浜町石脇1166 公益財団法人鳥取県栽培漁業協会	栽培漁業センター	種苗生産業務		
システム顕微鏡	1	オリンパスBX50-34-VPT-1PM2 0-3P	"	月額・年額	"	"	"	"		
FRP水槽	1	KF800S	"	月額・年額	"	"	"	"		
アルミエアふ化槽	2	FRP500	"	月額・年額	"	"	"	"		
FRP水槽	2	KF-1500S	"	月額・年額	"	"	"	"		
波板洗浄機	1	クボタ工業NK-50 OS型	"	月額・年額	"	"	"	"		
自動波板洗浄機	1	クボタ工業NK-50 O型	"	月額・年額	"	"	"	"		
遠心分離器	1	日立工機05P-21P	"	月額・年額	"	"	"	"		
冷却遠心機	1	日立工機CF15R	"	月額・年額	"	"	"	"		
PCRサーマルサイク ラー	1	宝酒造TP3000	"	月額・年額	"	"	"	"		
高圧蒸気滅菌器	1	オートクレーブMLS -3020	"	月額・年額	"	"	"	"		
高温恒温器	1	MOV-112P	"	月額・年額	"	"	"	"		

品名	数量	規格・銘柄	貸付期間	貸付料(円)		貸付先 住氏名	使用場所	貸付目的	備考
				単価	本年度の 貸付料				
恒温水槽	1	BF-500	H27.4.1 ~H30.3.31	月額・年額	免除	東伯郡湯梨浜町石脇1166 公益財団法人鳥取県栽培漁業協会	栽培漁業センター	種苗生産業務	
蛍光顕微鏡	1	NikonE600B	"	月額・年額	"	"	"	"	
DNA検出・撮影装置	1	AE-6915型	"	月額・年額	"	"	"	"	
フィッシュポンプ	1	ピンピンZ-65L	"	月額・年額	"	"	"	"	
測定台	2	三英DW式	"	月額・年額	"	"	"	"	
冷却遠心機	1	久保田MODEL 1920	"	月額・年額	"	"	"	"	
分光光度計	1	アマシヤムファアルマン アパバイオテク	"	月額・年額	"	"	"	"	
ELISA機器	1	5501575	"	月額・年額	"	"	"	"	
分注器	1	0.5~10μl 他	"	月額・年額	"	"	"	"	
アスピレーター	1	WJ-15	"	月額・年額	"	"	"	"	
クリーンベンチ	1	PAU-1300AG	"	月額・年額	"	"	"	"	

品名	数量	規格・銘柄	貸付期間	貸付料(円)		貸付先		使用場所	貸付目的	備考
				単価	本年度の貸付料	住氏名	所名			
和船	1	SW-24BF	H27.4.1 ~H30.3.31	月額・年額	免除	東伯郡湯梨浜町石脇1166 公益財団法人鳥取県栽培漁業協会	栽培漁業センター	種苗生産業務		
船外機	1	29.9KWスズキ製	"	月額・年額	"	"	"	"		
軽トラック	1	スバル 鳥取480 え6566	"	月額・年額	"	"	"	"		
軽キャブバン	1	日産 鳥取480 か6710	"	月額・年額	"	"	"	"		
軽キャブバン	1	日産 鳥取480 か6845	"	月額・年額	"	"	"	"		
フォークリフト	1	TCM FHGE15T4	"	月額・年額	"	"	"	"		
チョッパー	1	エムラES-2フード スライサー	"	月額・年額	"	"	"	"		
スライスカッター	1	KTD-3型	"	月額・年額	"	"	"	"		
万能投影機	1	ニコンイステック V-12BS	"	月額・年額	"	"	"	"		
紫外線流水式殺菌装置	4	フナテックLP-50	"	月額・年額	"	"	"	"		
自動給餌器(幼魚用)	4	松阪製作所 さんし郎KC-40CJ- DT	"	月額・年額	"	"	"	"		

品名	数量	規格・銘柄	貸付期間	貸付料(円)		貸付先		使用場所	貸付目的	備考
				単価	本年度の貸付料	住氏名	所名			
自動給餌器(稚魚用)	4	松阪製作所 さんし郎KC-15H-DT	H27.4.1 ~H30.3.31	月額・年額	免除	東伯郡湯梨浜町石脇1166 公益財団法人鳥取県栽培漁業協会		栽培漁業センター	種苗生産業務	
紫外線流水式殺菌装置	1	フナテックLP-40	"	月額・年額	"	"	"	"	"	
自動給餌器(稚魚用)	4	松阪製作所 さんし郎KC-15H-DT	"	月額・年額	"	"	"	"	"	
冷蔵庫	1	SRR-K1883	"	月額・年額	"	"	"	"	"	
合計	82									

16 借受不動産明細調べ

該当なし

17 職員住宅及び職員駐車場の管理状況

(1) 職員住宅

該当なし

(2) 職員駐車場

ア 管理状況

(平成27年12月31日現在)

財産の区分	所在地	1区画の面積 m ²	貸付(使用)料(月額) 円
行政財産	東伯郡湯梨浜町石脇1166	12.5	1,000
普通財産	(該当無し)		

イ 異動状況

(行政・普通財産)

(平成27年12月31日現在)

月別	前月末 人	当月減		当月増		当月末		調定額 円	収入済額 円	収入未済額 円
		うち減免 人		うち減免 人		うち減免 人				
4月	35	6		4		33		33,000	33,000	0
5月	33					33		33,000	33,000	0
6月	33					33		33,000	33,000	0
7月	33	1				32		32,000	32,000	0
8月	32					32		32,000	32,000	0
9月	32					32		32,000	32,000	0
10月	32					32		32,000	32,000	0
11月	32			1		33		33,000	33,000	0
12月	33					33		33,000	33,000	0
1月										
2月										
3月										
合計	295	7	0	5	0	293	0	293,000	293,000	0

18 自動車(二輪を除く)の管理状況調べ

(平成27年12月31日現在)

車種	年式	登録番号	取得年月日	総走行 キロ数 km	本年度		備考
					車検年月日	修理費等 円	
軽四輪貨物自動車	22	鳥取480 え65-66	H22.2.3	47,923	該当なし	36,223	
軽四輪貨物自動車	23	鳥取480か 67-10	H23.8.1	72,815	H27.7.31	112,208	
軽四輪貨物自動車	23	鳥取480か 68-45	H23.8.10	76,140	H27.8.8	109,886	
合計		3台				222,094	

19 寄付物件の受納状況調べ

該当なし

20 備品の処分状況調べ

(平成27年12月31日現在)

品名 (規格・銘柄)	数量	取得 年月日	耐用 年数 年	取得 価格 円	不用決 定年月 日	不用とす る理由	処 分				備考
							売払棄 却の別	売払方 法・売 却理由	処 分 年月日	売払額 ・処分 費用 円	
測定台 三英DW式DD-2	1	S56.3.10	8	99,000	H27.9.1	修理不能	棄却		H27.9.2		
顕微鏡デジタルシ ステム 島津理化Moticam 2000	1	H18.4.20	5	107,100	"	"	"		"		
エバラFQ型ポンプ	1	H14.6.7	5	141,750	"	"	"		"		
エバラFQ型ポンプ	1	H14.6.7	5	141,750	"	"	"		"		
マイクロナノバブ ル発生装置 M2.LM/PVC	1	H17.5.30	5	262,500	"	"	"		"		
マイクロナノバブ ル発生装置 M2.LM/PVC	1	H17.5.30	8	262,500	"	"	"		"		
手持式探知機 WAND	1	H17.5.28	15	687,960	"	"	"		"		
手持式探知機 WAND	1	H11.3.9	15	688,800	"	"	"		"		
超マイクロタグ自 動式インジツェ ター MARKIV	1	H9.5.28	15	1,365,000	"	"	"		"		
超マイクロタグ自 動式インジツェ ター MK4	1	H11.3.9	15	1,701,000	"	"	"		"		

品名 (規格・銘柄)	数量	取得 年月日	耐用 年数 年	取得 価格 円	不用決 定年月 日	不用とす る理由	処 分				備 考
							売払棄 却の別	売払方 法・売 却理由	処 分 年月日	売払額 ・処分 費用 円	
アクアラング14Lメ タリコンタンク 14L	1	H14.6.18	5	80,745	"	"	"		"		
アクアラング14Lメ タリコンタンク 14L	1	H14.6.18	5	80,745	"	"	"		"		
アクアラング14Lメ タリコンタンク 14L	1	H14.6.18	5	80,745	"	"	"		"		
アクアラング14Lメ タリコンタンク 14L	1	H14.6.18	5	80,745	"	"	"		"		
生物試料保存用 液体窒素容器 デュローSC型 33/32	1	H5.1.12	15	320,000	"	"	"		"		
水質測定器 マルチ水質モニタ リングシステムU- 22-10m拡張アダプ タU	1	H13.4.25	15	518,000	"	"	"		"		
アカイカ巻上機 森山製 MLD-G1	1	H15.8.4	8	449,400	"	"	"		"		
レイシークーラー (海水冷却機) LX150cx	1	H17.4.26	5	107,730	"	"	"		"		
レイシー殺菌灯 UVF-1000	1	H17.4.26	5	61,950	"	"	"		"		
レイシー殺菌灯 UVF-1000	1	H17.4.26	5	61,950	"	"	"		"		
ポリカーボネイト 水槽 SPS-1000	1	S59.12.3	8	56,000	"	"	"		"		
ポリカーボネイト 水槽 SPS-1000	1	S59.12.3	8	56,000	"	"	"		"		
上架用ウインチ 620kg×10m	1	H16.6.11	15	674,100	"	"	"		"		
光ファイバー照明 装置 LA-150TX	1	H4.8.18	5	120,000	"	"	"		"		

品名 (規格・銘柄)	数量	取得 年月日	耐用 年数 年	取得 価格 円	不用決 定年月 日	不用とす る理由	処 分				備 考
							売払棄 却の別	売払方 法・売 却理由	処 分 年月日	売払額 ・処分 費用 円	
マイクロゲータ窒素 分解装置 スギヤマKT-6EX	1	S56.3.31	5	50,000	"	"	"		"		
ミニラボカッター本 体 MC-110	1	H17.6.2	5	266,999	"	"	"		"		
プロテイング装 置 PB-80-1266-24	1	H8.11.11	5	298,700	"	"	"		"		
電気泳動装置 東洋科学産業(株) HW	1	S62.3.28	5	116,000	"	"	"		"		
生物顕微鏡 日本光学XF-21	1	S55.3.25	5	608,000	"	"	"		"		
恒温器(フホウ ル) 東洋科学産業(株) LC-80FC	1	S62.3.26	5	106,000	"	"	"		"		
紫外線トランスイ ルミネイター FT1-20M	1	H8.6.12	5	175,100	"	"	"		"		
微量定量ポンプ 25Nタイテック	1	H8.10.17	5	85,799	"	"	"		"		
泳動用安定電源 東洋科学産業(株) PS-520D	1	S62.3.28	5	80,000	"	"	"		"		
紫外線強度計 東京工学機械(株) TOPCONU.VRADI OMETERUVR-	1	S62.3.28	5	105,000	"	"	"		"		
携帯用GPSプロッ タ MODEL-1722C(G P-320B)	1	H20.7.10	5	241,500	"	"	"		"		
合 計	35			10,338,568							

21 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調

(平成27年12月31日現在)

現金、有価証券 又は物品名	数量	金額	亡失、損傷 年月日、時	同左場所	同左概要	報告 年月日	会計局の 審査結果
採水器	1	30,100	H27.5.25	鳥取市青谷沖	赤潮調査時においてロープ 断線により海中内に亡失	H27.5.26	賠償無し
合 計		0					

(2) 物品の照合

照合年月日	現物確認できなかった 物品	現物が確認できなかった物品名	個 数
27年3月16日 ～ 27年3月23日	・ 有 <input checked="" type="radio"/> 無		

○意見、要望等

特に無し

栽培漁業センター 個別様式

18-2 船舶（公有財産の船舶を含む。）の管理状況

（平成27年12月31日現在）

船名	トン数	取得年月日	稼働日数 日	燃料		修繕費等 円	左の主な内容 円	定係港又は船籍港	占用料 円
				消費量 ℓ	金額 円				
おしどり	6.1	H22.9.1	45	4,800				泊漁港	免除
石脇丸	0.9	H25.11.29	59	269				泊漁港	免除
計	7.0		102	5,069					

（注）「18 自動車（二輪を除く）の管理状況」の注書きの例による。

22 事業別予算執行状況調べ

（平成27年12月31日現在）

目名	栽培漁業センター費		
事業名		事業の概要（目的、実績等）	
美保湾ヒラメ事業放流サポート調査		23	試験研究調査事業別実施状況調べに記載
沿岸漁業重要資源調査		23	試験研究調査事業別実施状況調べに記載
資源回復技術開発試験		23	試験研究調査事業別実施状況調べに記載
豊かで安心な魚を育む漁場環境監視事業		23	試験研究調査事業別実施状況調べに記載
キジハタ栽培漁業実用化試験		23	試験研究調査事業別実施状況調べに記載
魚病対策事業		23	試験研究調査事業別実施状況調べに記載
養殖事業展開可能性調査		23	試験研究調査事業別実施状況調べに記載
湖山池漁場環境回復試験		23	試験研究調査事業別実施状況調べに記載
活イカブランド出荷システム実証試験		23	試験研究調査事業別実施状況調べに記載
東郷池ヤマトシジミ資源回復試験		23	試験研究調査事業別実施状況調べに記載
環境に適した漁法の開発試験		23	試験研究調査事業別実施状況調べに記載
藻場造成事業		23	試験研究調査事業別実施状況調べに記載
未利用海藻増産試験		23	試験研究調査事業別実施状況調べに記載
アユ資源緊急海洋生態調査		23	試験研究調査事業別実施状況調べに記載

栽培漁業センター 個別様式

23 試験研究調査事業別実施状況調べ

(平成27年12月31日現在)

事業名	実施計画 期間 (予算額 支出済額)	担当室	試験研究 調査の目的	試験研究調査の 成果・課題
美保湾ヒ ラメ試験 放流サポ ート調査	26年度 ～27年度 円 (1,737,000) 989,267	増殖推進 室	「6 主な事業に関する調べ」に記載	(成果) 「6 主な事業に関する調べ」に記載 (課題) 「6 主な事業に関する調べ」に記載
沿岸漁業 重要資源 開発試験	13年度 ～ 円 (9,624,000) 4,920,177	増殖推進 室	(調査対象) ヒラメ、ナガレメイタカレイ、マダ イ、サワラ、ソデイカ、サザエ等 (目的) (単) 沿岸漁業の重要対象種の資源動向 と漁獲実態に関する調査を行い、漁 業者へ資源管理方策の提言や高効率 な漁業経営を促進するための情報発 信を行う。	(成果) データ蓄積しており、稚魚の発生動向等か ら来漁期の漁獲予測が可能であり、漁業者が 一番関心のある情報を提供している。 (課題) サザエ、アワビの漁獲サイズ等を把握し、 資源管理を行う上でのデータを蓄積する必 要がある。 漁獲の多いマアジについて沿岸域での調査 がされておらず、漁獲動向を把握する必要が ある。
資源回復 技術開発 試験	19年度 ～ 円 (2,012,000) 876,851	増殖推進 室	(調査対象) イワガキ、バイ (目的) (単) 平成19年度から漁業者が実施し ているイワガキ及び平成22年度か ら取り組んでいるバイ資源回復の取 り組みを支援するため、資源状況(効 果)の把握と増殖策に関する調査を 実施する。	(成果) バイについては、産卵器の投入方法の指導 や投入時期の情報提供を行った。 (課題) イワガキ稚貝が付着する時期、方法等を開 発することが必要である。 また、イワガキの食害生物の駆除・防除方 法を開発する必要がある。
豊かで安 心な魚を 育む漁場 環境監視 事業	19年度 ～ 円 (3,554,000) 912,515	増殖推進 室	(調査対象) 海洋環境(水温・塩分・クロロフィ ル)、有害赤潮プランクトン貝毒調 査、藻場の監視 (目的) (単) (委) ・沿岸漁業者の操業に役立つ海況と 海洋観測前後の漁獲情報等を提供す る。 ・有害赤潮プランクトンを監視する。 ・イワガキ出荷の安全・安心の確保 のため貝毒原因プランクトン、ノロ ウイルスを監視する。 ・海藻の分布状況を監視する。	(成果) ・漁場環境や漁獲情報の迅速な提供によって 漁業者の日々操業に役立った。 ・有害赤潮の発生予測によって被害防止策を 迅速に講じることができた。 ・特産品であるイワガキの安全な流通とブラン ド保持に寄与した。 (課題) ・有害赤潮等の被害を防止するには県内及び 臨県の各機関との連携・監視調査が必要であ る。 ・磯根資源を守るためには、県下を広く網羅 した定期的な藻場監視調査が必要であり、長 期的に知見を集積することが必要である。

事業名	実施計画 期 間 (予算額 支出済額)	担当室	試 験 研 究 調 査 の 目 的	試 験 研 究 調 査 の 成 果 ・ 課 題
キジハタ 栽培漁業 実用化試 験	25 年度 ～27年度 円 (9,128,000) 5,015,216	増殖推 進室	「6 主な事業に関する調べ」に記載	(成果) 「6 主な事業に関する調べ」に記載
				(課題) 「6 主な事業に関する調べ」に記載
魚病対策 事業	20 年度 ～ 円 (3,417,000) 2,259,085	養殖・漁 場 環 境 室	(調査対象) アワビ、アユ、ギンザケ、ヤマメ、ニ ジマス、イワナ、コイ、フナ、マサバ、 キジハタ、アユカケ等 (目的) (補助) 薬事法及び食品衛生法に基づき養殖 水産物の食の安全性を確保するめ、養 殖場の巡回指導、水産用薬品の残留検 査、適正使用指導を行う。 種苗生産や養殖試験過程で発生する 疾病の原因究明、対策技術の開発を行 い、安全生産に寄与する。	(成果) ・魚病発生時に必要な検査を実施し、原因究 明を図った。 ・種苗生産で発生する魚病についての防除策 を研究した。 ・アワビ類のキセノハリオチス症対策として 天然資源や生産種苗の放流前検査を実施し た。
				(課題) 生産量の急増しているマス類養殖に関する 最新の魚病疾病・対策の情報収集が必要であ る。
養殖事業 展開可能 性調査	24 年度 ～27年度 円 (12,365,000) 9,686,983	養殖・漁 場 環 境 室	「6 主な事業に関する調べ」に記載	(課題) 「6 主な事業に関する調べ」に記載
				(課題) 「6 主な事業に関する調べ」に記載
湖山池漁 場環境回 復試験	12 年度 ～ 円 (3,866,000) 1,614,989	増殖推 進室	(調査対象) ヤマトシジミ、魚介類 (目的) (単) 「湖山池将来ビジョン」に基づく塩分 導入が、湖内の魚介類へ与える影響お よび水質の変化を把握するとともに、 重要魚種の資源状況把握及び水産振興 策としてのシジミ増殖策を検討する。 また、漁場環境の改善と造成を目的 とした、安価な手法による覆砂の効果 を検証する。	(成果) ・湖内の魚介類の生息状況を把握した。 ・本試験の成果により、H26年6月から魚が 開始され、現在も順調に漁獲が続いている。
				(課題) ・ヤマトシジミ漁が安定して行える漁獲量な どを試算する必要がある。 ・安価な覆砂の効果が何時まで続くか把握す る必要がある。
活イカブ ランド出 荷システ ム実証試 験	25 年度 ～ 27年度 円 (926,000) 239,363	養殖・漁 場 環 境 室	(調査対象) 白イカ (目的) (単) 需要の高い「活白イカ」について陸 上水槽での活イカの備蓄技術や飲食店 等の出荷先までの活魚バック輸送技術 を開発する。	(成果) 賀露地区にモデル水槽を設置し、畜養試験 を実施した。夏の比較的大型のイカでも60尾 を収容し、特に問題もなく畜養可能なことが わかった。 同様に活イカバックについても試験を行 ったが、外部刺激等による墨吐きもあり、5 時間程度の輸送が現実的と推測された。
				(課題) 漁獲物の畜養には問題は特にないが、一方 で受け入れる側のイカの管理水槽がないと、 活イカバックだけでは普及は難しい。

事業名	実施計画 期間 (予算額) 支出済額	担当室	試験研究 調査の目的	試験研究調査の 成果・課題
東郷池ヤマトシジミ資源回復試験	26年度 ～28年度 円 (8,234,000) 6,527,420	増殖推進室	(調査対象) ヤマトシジミ (目的) (単) ・東郷池におけるヤマトシジミ増殖のための「橋津川水門操作マニュアル」の高度化と実証を行う。 ・資源状況や市場ニーズに応じた漁獲量の管理を行う。 ・東郷池産ヤマトシジミの更なる付加価値向上の取組を行う。	(成果) ・シジミの分布、資源状況を把握した。 ・湖内の水質を把握した。 ・東郷池水質予測モデルの基礎を作成した。 ・シジミ資源が回復傾向にある。 (課題) ・水門操作と湖内環境の関係を明らかにする必要がある。 ・湖内が貧酸素状態となった場合の対応策を明らかにする必要がある。
環境に適した漁法の開発試験	27年度 ～29年度 円 (2,237,000) 1,234,016	増殖推進室	(調査対象) 環境に適した漁法開発、小型底びき網の漁具改良 (目的) (単) 海水温の上昇等の漁場環境の変化による漁獲の低迷や厳しい沿岸漁業経営の改善に繋げるため次の調査を行い、各地区の漁業者に速やかに普及する。	(成果) 小型底びき網の漁法改良については、桁棒を延長し網目を拡大することにより、現状並の漁獲量を維持しながら資源保護ができることが明らかになった。 (課題) 新潟県等で行われているサワラの電気釣りについて、鳥取県での導入を検証する必要がある。
藻場造成事業	27年度 ～29年度 円 (2,195,000) 2,077,970	増殖推進室	(調査対象) 海洋環境、ノコギリモク、クロメ、食害生物(ムラサキウニ) (目的) (単県) 海水温の上昇等により全国的に藻場が衰退しつつあるため、藻場造成の成功率アップにつながるよう藻場の増加・衰退の原因を究明するとともに、浅場～深場(水深約十数m)までを対象とした藻場造成方法を開発・実証する。	(成果) ・浅場～深場で生育できるノコギリモクやクロメの藻場造成のため、7月と11月に御来屋と中山でスポアバックの投入を行い、増殖の手応えを得た。 ・安価で量産化できる基質を用いて種苗生産したクロメを海中に設置し、設置作業の効率性など検討した。 ・藻場が衰退した場所(泊)と増加した場所(青谷)で5日間、流速計観測を行い、流速や水温のデータを得た。 ・食害生物のムラサキウニが大量発生している浜村で8月以降、駆除と効果調査を行った。 (課題) ・生長に時間を要するため、ノコギリモク、クロメの効果調査の継続が必要である。 ・数日間の流速計観測では、流速等の場所の違いが見えづらいため、長期設置できる機器で観測する必要がある。

事業名	実施計画 期 間 (予算額) 支出済額	担当室	試 験 研 究 調 査 の 目 的	試 験 研 究 調 査 の 成 果 ・ 課 題
未利用海藻増産試験（海の葉っぱビジネス創出活動 Part II）	27 年度 ～29年度 円 (1, 947, 000) 1, 339, 672	養殖・漁場環境室	<p>(調査対象) アカモク、ホンダワラ、フサイワズタ、ハバノリ等</p> <p>(目的) (単) 未利用海藻ほりおこし調査（H24～26年度）によって発掘したアカモク、ホンダワラ、フサイワズタ、ハバノリ類などの未利用海藻の更なる増産を促し、漁業者等が取り組む未利用海藻を素材とした6次産業化（海版葉っぱビジネス）を創出、拡大するための技術的支援を行う。</p>	<p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田後漁協のアカモク加工事業検討を支援するため、周辺海域を調査し群落の存在を確認した。 ・県外業者からの要望のあったホンダワラについてスポアバックによる増殖効果を確認した。 ・セイヨウハバノリの人工採苗による港内養殖の可能性が明らかとなった。 <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワカメ加工と競合するためアカモクの加工量が少なく、漁業として成立しにくい状況であることから、保存方法の検討等、更なる加工普及の取組みが必要である。 ・需要が明らかとなったが、生息量が少ないホンダワラの安定生産手法を確立する必要がある。
アユ資源緊急海洋生態調査	27 年度 ～29 円 (930, 000) 840, 000	増殖推進室	<p>(調査対象) アユ、カタクチイワシ、海域プランクトン</p> <p>(目的) (単) 本県の海域におけるアユ仔稚魚の資源変動要因を明らかにする。</p>	<p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アユ仔魚との競合生物調査（カタクチイワシ等の資源量把握）、餌料調査（プランクトンの量の把握）を実施中。 <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資源変動要因を明らかにするためには複数年のデータの蓄積が必要である。

2.4 船舶運航調べ（試験船おしどり）

（平成27年12月31日現在）

事業名	出航先	期間		乗船者			備考
		月日～月日	日数	調査員	乗務員	その他	
美保湾ヒラメ事業放流サポート調査	海上1区	27.4.10	1	延人 3	延人 2	延人	
沿岸漁業重要資源調査	海上1区	27.6.17 ～27.12.22	7	10	9	2	
資源回復技術開発試験	海上1区	27.9.14 ～27.12.9	4	7	5		
豊かで安心な魚を育む漁場環境監視事業	海上1区	27.4.23 ～27.10.15	11	16	11		
キジハタ栽培漁業実用化試験	海上1区	27.6.1 ～27.10.21	5	7	7		
環境に適した漁法の開発試験	海上1区	27.7.28	1	1	2		
藻場造成事業	海上1区	27.4.22～ 27.12.2	12	24	14		
養殖事業展開可能性調査	海上1区	27.5.28 ～27.7.3	6	9	10	3	
合計			47	77	60	5	

2.4 船舶運航調べ（試験船石脇丸）

（平成27年12月31日現在）

事業名	出航先	期間		乗船者			備考
		月日～月日	日数	調査員	乗務員	その他	
資源回復技術開発試験	海上1区	27.4.17～27.12.16	27	延人 39	延人 28	延人	
豊かで安心な魚を育む漁場環境監視事業	海上1区	27.7.31～27.12.24	5	5	6		
キジハタ栽培漁業実用化試験	海上1区	27.6.12～27.9.26	6	7	7		
環境に適した漁法の開発試験	海上1区	27.4.16～27.12.14	11	4	15		
藻場造成事業	海上1区	27.8.4～27.12.10	8	11	9		
未利用海藻増産試験	海上1区	27.4.15、4.27	2	4	2		
合計			59	70	67		

25 用船の状況調べ

事業名	調査内容	隻数	出向先	借上げ延日数	金額(円)		備考
					計	使用料内訳	
美保湾ヒラメ事業放流サポート調査	桁網調査	1	美保湾	5	400,000	80,000円/日・隻×5日	4マイル未満3t以上 4h以上30m以浅
環境に適した漁法の開発試験	サワラの電気釣試験操業	1	新潟県	1	90,000	90,000円/日・隻×1日	4マイル超 3t以上 4h以上30m以深
	桁棒比較試験操業	5	赤碕地先、美保湾	4	360,000	90,000円/日・隻×4日	4マイル超 3t以上 4h以上30m以浅
沿岸漁業重要資源調査	桁網調査	3	賀露～青谷沖、泊～天神川灘	20	640,000	80,000円/日・隻×8日	4マイル未満 3t以上 4h以上 30m以浅
					630,000	90,000円/日・隻×7日	4マイル超 3t以上 4h以上30m以深
	ソデイカ漁期前試験操業	2	賀露沖	2	180,000	90,000円/日・隻×2日	4マイル超 3t以上 4h以上
キジハタ栽培漁業実用化試験	追跡調査他	30	網代、酒津、赤碕、淀江地先	26	795,000	30,000円/日・隻×0.5日×51日	4マイル未満 3t未満
						60,000円/日・隻×0.5日×1日	4マイル未満 3t超
藻場造成	磯焼け調査	5	牧谷、網代、船磯、中山地先	4	330,000	30,000円/日・隻×0.5日×1日	4マイル未満3t未満 4h未満
湖山池漁場環境回復試験	シジミ調査他	1	湖山池	9.5	190,000	20,000円/日・隻×0.5日×19日	内水面
東郷池ヤマトシジミ資源回復試験	シジミ調査他	1	東郷池	0.5	10,000	20,000円/日・隻×0.5日×1日	内水面
合計		49		72	3,625,000		